

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	環境都市3年	科目コード	39501381
科目名	建築計画 Architectural Planning and design				
担当教員	西川 嘉雄				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	平面図に関する建築物の成り立ちと機能を理解し、実際に建築空間をどのようにつくるかという建築設計の理論と手法について習得する。				
先修科目					
後修科目	設計製図 , 建築法規 , 建築環境 , 建築史				
備考	身近な建物に興味を持ち観察することが必要。				
	授業項目	時間	内容		
1	建築計画学の概要1	2	建築計画の重要性を説明できる。		
2	建築計画学の概要2	2	建物を企画・設計・施工・利用・改修・解体の一連のプロセスを説明できる。		
3	住宅の計画1	2	住宅様式と住宅の変化を説明できる。		
4	住宅の計画2	2	戸建・集合住宅の計画を説明できる。		
5	福祉施設の計画	2	福祉施設、高齢者施設の概要と必要諸室や配置計画等を説明できる。		
6	病院の計画	2	診療所、病院の概要と必要諸室や配置計画等を説明できる。		
7	コミュニティ施設の計画	2	コミュニティ施設、公民館の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
前期中間試験					
8	学校教育施設の計画	2	保育園、幼稚園、小中高校の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
9	図書館の計画	2	図書館の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
10	博物館の計画	2	博物館の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
11	劇場の計画	2	劇場の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
12	ホテルの計画	2	ホテルの必要諸室や配置計画等を説明できる。		
13	オフィスビル・百貨店の計画	2	オフィスビル・百貨店の必要諸室や配置計画等を説明できる。		
14	建築物の調査	4	既存建築物の調査をし、建築計画の状況を説明できる。		
前期期末試験					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	建築を計画・設計する上での基本事項、つまり、空間の構成、室の構成、動線と機能図を各種建物用途ごとに理解できる。さらに設計方法とプロセスを理解した上で設計へ具体的に実現できること。以上の内容を総合して評価し、学習・教育目標の(D-1)及び(D-2)の達成とする。				

成績評価	前期中間試験（50％）、前期期末試験（50％）の合計100点満点で（D-1）及び（D-2）を評価し、合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。
教材	教科書：内藤和彦編著「設計に生かす建築計画」学芸出版 参考書：佐藤孝一・五十嵐太郎「建築計画」市ヶ谷出版
オフィスアワー	毎週水曜日16:00～17:00，環境都市工学科，西川教員室。